

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

42

2022



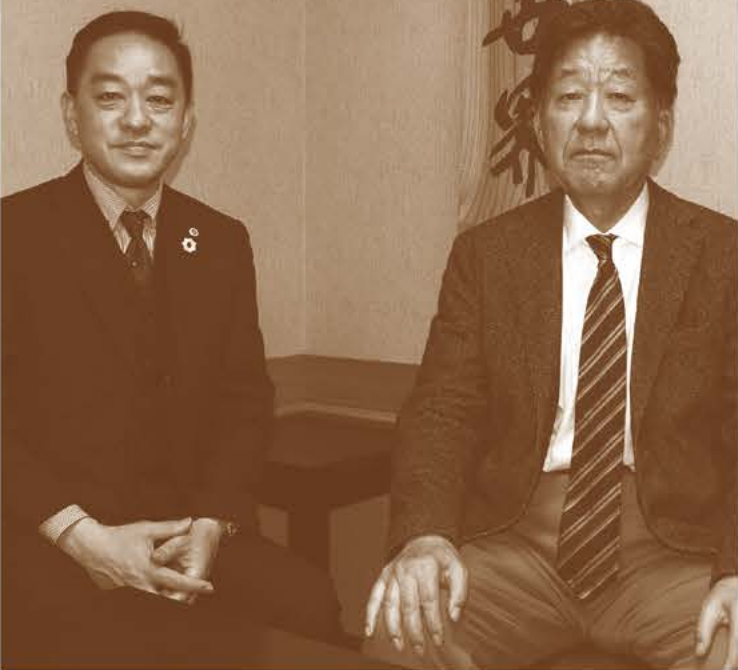
●ZIONコレクションー11

「新4号館」

学園創設の地であるシオンの丘に、高校新4号館がこの春完成した。全館ICT対応、最新の設備機能によって、学びの環境が充実。丘の傾斜に沿って設けられた階段型ホールは、「集い、出会い、語らい、活動する」多様なシーンの舞台となっている。

同窓会会長・次世代へバトンタッチ 躍る新会長！ ●7代目会長に川上光彦氏が就任

鈴木誉志男(10回)さんは、昨年まで5代目会長を13年間、6代目会長金澤克彦さんの後、名誉会長を6年間務め、長年にわたり同窓会を支えてこられました。この度7代目会長を引継がれた川上光彦さんと、かつて編集会議を開いていたサザコーヒー本店の一室で高校の思い出などをたづねると語っていただきました。



左から、川上光彦7代会長と鈴木誉志男5代会長

●川上さんは57歳、次世代に期待が

鈴木 次期会長には、調整力があって、地域で活躍している川上さんはいかがかと…。若くて行動力があるし、選考委員会で意見が一致し、お願いして即快諾してもらいました。

川上 同級生に誘われて、ここ数年同窓会イベントに参加し幹事会にも出ていました。それで会長にとお話を頂き、自分が動けそうなことはまずは受けてみようかと…。

鈴木 いいね！そういうところがこの同窓会にピッタリ。いろんなことやるからね。タレントぞろいの同窓生チャリティーコンサートとか、シオン祭でいろいろ販売したりして、記念館建設に寄付出来たし。公序良俗に反しない限り何でもやってみようか(笑)。

川上 実は私の地元日立市で、音楽イベントを立ち上げた事があるんですよ。2008年から15年くらい続いています。初めはレゲエ好きの素人仲間数人で、日立を盛り上げよう、とりあえずやっちゃおうと。今では他のイベントとも共催で、河原子の北浜スポーツ広場に1万人集まる全国規模になっちゃいました。無理やり始めたことだからやめられないよな、です。



「うかるくん」と「もうかるくん」で～す

それからこんなことも。うちの会社で勝手に作った日立市非公認キャラクター、「うかるくん」と「もうかるくん」。

●ゆるキャラですか？可愛～い！

鈴木 えー、川上さんの中に入っているの？
川上 前向きなネーミングでしょう。バスケットボールのロケットやサッカーのホーリーホックの試合のハーフタイムに、これかぶって踊ったりしたこともあります。会場のテンションを上げるのが使命。日立市のいろんなイベントにも乱入して暴れます(笑)。

鈴木 いやあ、踊れる会長。いいね！

●すごい発想と行動力、高校時代もイケイケ？

川上 いいえ。小さい頃は引つ込み思案。高校は普通クラスのフツの生徒。部活はあんまり強くないバスケット部で、3年になると行かなくなつて、友達と学食に入り浸り。よくプリンの失敗作を学食のおばちゃんからもらってました。



San Bernardino Valley College 卒業式



卒業式後の食事会



Oklahoma Christian College のマコーミック先生と



Little Tokyoで友人たちと



Medieval Timesで



音楽フェス“PLACE Supported by Naturally K.”(河原子海岸)

よ。

鈴木 昔は学食も米軍払い下げのかまぼこ型。アメリカ人教師の家も並んでいたな。

川上 野球部や陸上部と仲が良く、体育の授業のあとは有馬先生ともフリースローを競い合ってた。推薦入学でもまあまあ成績のほうは、ちゃんと英語で赤点頂くとで成長しました(笑)。とにかく楽しかったです。3年担任の小澤先生は家が近く、よくうちの会社に立ち寄られますよ。趣味の絵の画集を作ってお手伝いしました。

鈴木 小澤先生は長男、現サザビー社長も担任で、散々お世話になりました(汗)。ギヤラリーサザで個展をされましたね。卒業後先生方と親交がある話をよく聞きます。

●卒業後の進路は？

川上 うちの父親が印刷会社(日立高速印

刷株式会社)を経営していて、今私が2代目。それで、印刷専門学校に行っただけですが、当時インクの輸入もしていたので、英語を勉強しにアメリカに留学しろと。

鈴木 なるほど、それはフッキーなチャンスでしたね。

川上 父親は行けというけど、「いやだなあ」が本音。何せ英語赤点ですから(笑)。

高校に相談し、オクラホマクリスチャンカレッジの先生が来ているので面接して頂けることに。幸い受け入れてもらえたけど、まずはTOEICに挑戦。ぜんぜん喋れないまま、ロサンゼルスの大空港で大迷走してオクラホマに辿り着きました。日本人が僕だけの語学学校に通い、なんとか合格点が取れて、やっと正式入学。

鈴木 ロサンゼルスの空港はほんと巨大。わたしも仕事で一人で南米に行くんだけど、言葉がわかんなくて経験と勘だけでどうにかしてる。

川上 1年ほどたつて、聖書の授業が苦手になつてきて(汗)、カリフォルニアのコミュニティーカレッジに編入することに。オクラホマから

レンタカーに家財道具積んで2日半かけて大移動。アメリカには3年半いたかな。あんなに辞書ひいたことなかったな。高校時代もつと勉強しとけばよかった(笑)。

鈴木 英語だけでなく行動力も身に着けましたね。

川上 自分をちゃんとアピールして、自分の意志で行動しないと生きていけない。留学経験で、性格もだいぶ変わりましたね。人前に立つのが苦手だったのに(笑)。

帰国後、4年くらい東京の試薬販売メーカーで営業をしていましたが、やっぱり父親の会社に戻るべきだろうな、と決意。現在に至る、です。

鈴木 体験型学習だね。ワンクッションおくと、自分の本当にやりたいことや学ぶべきことがよく分かる。川上さんのお子さんと私の孫が学園の中学で同級生。世代は違いますが、2代3代で学園とご縁があるファミリーがとっても多いのが嬉しいね。

●2021年末 10年ぶりに同窓会名簿を発行

鈴木 1982年宇野会長時代に初めて名簿を発行。それなら会報も、当時副会長だった私が、同級生の雨谷さん酒井さんと一緒に作ることにしたんです。校長や会長の堅苦しい挨拶文はなるべく少なくし、主役の同窓生がたくさん参加し、とにかく読んでもらえる会報誌を目指してきました。

この方針はずっと変わっていませんね。その名簿作成の際、賛助広告や賛助金にとっても多くの協力を頂き、制作を依頼した業者も感心していました。名簿や会報の取材記事がきっかけで交友が広がったとの嬉しい報告も聞きますよ。

川上 これからの時代は同窓会もSNSを活用してイベントの参加を募ったり、同窓会の現在進行形を発信していけるのではないかと考えています。皆様のご意見も聞きながら同窓会をより楽しく発展させていけるよう、ご協力よろしくお願ひします。



大森均
(21回生)
大阪市在住

宝石のような思い出

半世紀前、高校2年の後半に、修学旅行も生徒会も学園祭もない勉強中心の大阪の高校からシオンに転校。初めて接するキリスト教の校風や茨城の雰囲気などに相当驚いたが、中学から短大まで女性が多いキャンパスには「ラッキー」とも感じた。生涯の友にも出会え、愉快で楽しい生活が始まった。水戸や日立に寄り道をし、夏には水木海岸に出かけた。色々な物を育ててもらったシオンでの1年半は何物にもかえがたい宝石のような思い出。ユージンの「卒業写真」を聞くと思い出すのは笑顔の友人達だ。毎年同期の安達良司さん経営の那珂湊の藤屋ホテルで開かれる同窓会に欠かさず参加している。

大学卒業後、9年間大阪の信用組合に勤務。その後家業の「テラーダービー」に入った。青年会議所全国大会で高校の先輩にお会いしたこともある。釣りやおやじバンドなど多趣味で、大阪日日新聞に釣りのコラム「大森均の釣れ釣れ草」を22年間毎週執筆している。お母さまと奥さまは平磯出身。二人の息子さんも茨城の味で育った。また、叔母さまや二人のいとこも卒業生。

文字アート / 薫

高校時代に友人や先生との文芸クラブが楽しくて、そこで培われた感性が、明治学院大学の文芸部へと受け継がれて、後に、この文学的要素のある「文字アート」創作のきっかけとなったという。また技術的には、結婚以前からずっと続けてきた鎌倉彫の様々なパターン彫りの彫りが活かされている。

木や布、紙などの素材を使い、文字と言葉のもつイメージを、描いたり、彫ったり、カットしたりしてデザインする独創的な作品だ。

東京ビッグサイトで行われたデザインフェスタや多くのグループ展に参加している。

息子さんが独立された今は、一人で存分に創作を楽しみながら、日立シビックセンターの催事の企画など、色々活躍している。

最近は何語を学び始め、益々創作意欲が刺激されて、また新しい作品ができそうである。

日立市の吉田正音楽記念館でも薫さんの作品を見ることができる。



阪井薫
(旧姓牧野田・11回生)
日立市在住



高嶋正明
(1回生)
横浜市在住

開校の思い出

一期生として、それこそ原っぱで何もないうちに入学された。皆で協力して一生懸命グラウンドを整備したり、アメリカ人のヴァージル H. ローヤー初代校長先生にアメリカンフットボール(タッチフットボール)を教わったり、大変だったけれど楽しい時代でもあったそうだ。

卒業後は、早稲田大学理工学部に進学。北海道大学農学部、東北大学に進学された友人たちもおり、皆さん、それぞれ社会人として活躍しておられる。

大学卒業後は、日立製作所電子部品営業部に勤務され、半導体素子を販売された。

現在は、90歳になられて、横浜市青葉区のマンション8階に住み、奥様との時間を大切にされ、ベランダの鉢植えの手入れをされたり、シャンソンを聴いたり歌ったりして日々を送っておられる。

●いま輝いています●
Bright

夢はエンターテイメント
王国でのグラミー賞

◆地元でヒップホップ文化を

作曲家・プロデューサー
TRILL DYNASTY (61回生)
北茨城市出身

2021年1月1日、トリルさんは、ビルボードの音楽チャート、R&B/hip-hop(以下ヒップホップ)部門で全米1位を獲得し、認定プラークを手にした。

この受賞は、前年にリリースされたポップミュージシャン、リル・ダークのアルバム「The Voice」の楽曲をプロデュースした功績によるもの。ヒップホップの本場アメリカでのアルバムチャート1位は、日本人初の快挙となった。

21歳の時、勤めていたアメリカクラブの洋服屋で給料の代わりに買ったDJ用のターンテーブルと音響機材のミキサーを使い、各地のクラブやイベントでDJを続けていた。やがて、「曲作りをしては?」と、音楽仲間から勧められたことで、地元に戻り会社勤めをしながら、小型のパソコンと24鍵のミキサーボードで曲作りを始めた。しかし、「足のわらじでは夢はかなえられない」とアドバイスされ、音楽に専念する決心をした。

◆音楽は好きでしたか?

「聞くことは好きでしたが、高校の教科書はほとんど開いたことは無かったですし、音階は分からないし、あまり好きではなかったです。評価はいつも『2』だったと思います」



◆作曲の方法は?

「キーボードに音階を表示して使っていました。曲作りは理論ではなく、感覚的なもの。頭に浮かんで降りてきたメロディーをフィニッシュして表現する。作曲の概念からはずれているかもしれませんが」

曲作りは、2匹の猫たちを膝に、明け方まで続く。時にはまどろみながら没頭する日々だ。

作曲数が2000曲を超え、ひとりでのプロモーションに限界があると感じたトリルさんは、海外の作曲家やプロデューサーにSNSのダイレクトメッセージを地道に送り続け、ついに返事がきた時は、「努力すれば道は開かれる」を実感した。

◆1日の目標を決めて、自らに課しているとか?

「毎日の目標を決めるのは、その先

東野町のイタリアン

子供の頃から、両親が共働きだったので、おばあちゃんと過ごすことが多く、教えてもらったお料理が美味しくて、そして楽しかった。高等学校を卒業した後、東京の調理師専門学校へ入り基礎から勉強し、その後色々な専門料理店で修行をしていたが、意を決して、本場のイタリアン料理を学びたいとイタリアへ。語学研修等の後、フィレンツェに近いお城の街ルッカの一流料理店で働くことになった。そこで色々な学ぶうちに、丁度日本料理がその土地の産物を使って料理の特長を出すように、イタリア料理もその土地の持ち味を生かしたそれぞれのイタリアンがあることに気がついた。帰国後、しばらくは東京で働いていたが、その土地に根ざしたレストランの夢を求めて水戸へ帰郷。自分のお店を持った。頑張ってお店が軌道に乗り出したところでコロナ禍。

今は店を休業しているが、長男(小2)、次男(5歳)と触れ合う機会ができ、それも良いチャンスと思っている。子供達のサッカー練習に付き合いつつ、コロナ後に変わるであろう世の中を見据えて、お店の新しいプランを練っているところである。



(51回生)
水戸市在住
岡田 太郎



(71回生)
米沢市在住
大友 梨瑚

両立の難しさ、達成のよろこび

本校では小4から始めていたバスケットに入部。試合にもメンバーとして出場するほど猛練習に明け暮れた。そうした中でもう一つ勉学の化学に目覚めて両立に悩んでいた時、気軽にそして親身になって相談のってくれた萩谷大祐先生、精神面を教え支えてくれた渡辺知恵先生、そして本校ならではの自由な校風の友人にも助けられ、最後まで頑張ることができた。また苦手な英語ではアメリカへの短期留学。何事も諦めずに行動し、そしてやり遂げてきた。

そんな中、将来は好きな化学に携わる仕事に就きたいと、一生懸命勉強していた自分を後押ししてくれた宇佐美綾子先生からアドバイスを受けて、山形大学高分子・有機材料工学科に進むことが出来た。大学では、今まで以上に自由なキャンパスライフを楽しむ中で、難しいことが多い勉強を進めていく厳しさを感じながらも新しい友人と出会うことも出来た。また、スキーサークルに入ったことで体育会系のスイッチがまた入ったようだ。そして、やりたい夢を叶える研究室に入れるよう頑張って、あらたな両立に向かい達成させる日々である。



(旧姓渡邊・41回生)
つくば市在住
大田 朋美

オンもオフも充実

中学から大学まで10年間久慈浜駅から通称「チン電」で通学。歌うことが好きで中学では合唱部。高校時代は吹奏楽と料理(家庭)に所属。生徒会では白いソックスと黒の革靴の校則に、寒さ対策で女子の黒いタイツを認めてもらった。

ミュージカル「レ・ミゼラブル」が大好きで大学在学中にバックパッカーでイギリスまで観に行きた。大学卒業後小学校教員免許を取得し、県立下妻養護学校、つくば特別支援学校に勤務した。震災の時、二人目の出産を機に退職したが、その後再就職。つくば市立東小学校で5・6年生を担当後、過去の経験をかわれ特別支援学級を担当。合唱クラブの指導もした。今年4月つくば市立島名小学校特別支援学級に異動したが、今までの経験を生かしていきたいと思っている。家族は研究員のご主人と大学受験の息子さん、小6の娘さん。息抜きは娘さんと始めた書道。母子で競って、上達と昇段で達成感と喜びを感じている。

好きなことやり続けて還暦

本校に入学してオープンな雰囲気の中で自立してやろうと思ひ、演劇部とフォークソング部に入部。そして、ここで他校では経験出来ない多様性に触れることができた。気が付いたら人が好き、面倒みるのが好きな自分に気づいた。

茨城が大好き過ぎてそのままキリスト教大学に進学し、社会福祉士、教員免許を取得して、卒業後は社会と関わりが深い警察官、そして教員を暫く務めた。その後、もっと自分が主体的にできる仕事をしたいたいと考えた末に学習塾を開いた。この塾は進学一辺倒でなく社会人、年配の塾生が凡そ1/3もいる正に多様性のフリースクールも兼ねている。また、塾は日中空き時間があるため、これを活用して人好きの性格から民生委員、自治会役員もこなして近隣住民のお世話をしている。毎日充実過ぎるくらいである。

また、休日には、これまで大好きだったドライブや都心のビル群散歩から、これからは古い車をメンテナンスしながらちよい乗りや古地図を手にした下町の軒下散歩をしていきたい。



(31回生)
ひたちなか市在住
西宮 秀樹

患者を治療してこそ自分も育つ

研修医期間を終えた現在は、医師の仕事に大変充実感を覚えつつも、早朝より外来者や入院患者の治療、そして手術も行い超多忙の日々を過ごしている。

ここまで来れたのは、本校で特に受験生活において早寝早起きを徹底し、特に3年間担任だった中井川竜文先生には解らないところなど、親身になって教えていただき大変応援してもらったからだ。そして現役は叶わなかったが希望する医学部に入学。

大学入学後は、ボート部の部活に明け暮れていたが、やはり勉強することが大切であり、また大変で机から離れそうになると、本校で1年生の時だけだったが活動した礼儀正しい剣道部、そして、本校ならではの聖書の言葉には挫けそうになった時にどれだけ助けてもらったか数知れない。お陰で医師となる願いが叶った。剣をメスに変えた(笑)。

これまで患者や医学書、論文に向き合う日々であった。が、これからは心豊かにするためにものんびりした旅を楽しみ、なによりも疲れた顔を見せないで患者さんにとっかかり向き合った治療を心がける医師でありたい。



(61回生)
つくば市在住
熊崎 誠幸

◆「ある大きな目標を達成するためです」
◆「ところで、仕事の拠点を変えないのは何故?」
「インプットの場所はいろいろ必要ですが、アウトプットは地元で出来ます。ヒップホップの文化を広げ、人の流れを呼び込み、地元で還元したいです」
◆「昨年11月にいばらき大使。今年1月に北茨城市応援大使の委嘱を受けたの

は、少しでも活性化に役立てればとの思いからだ。」
◆「同窓生との交流とか思い出は?」
「野球部の仲間とはLINEで繋がっているのですが、いつでもコンタクトが取れます」
◆「これからも結果が予測できることは迷わず挑戦したい!」と、明快なポリシーを雄弁に語る。目標の実現はそう遠くは無いかも知れない。

紹介します！ 「新4号館」

新しい「学びと集い」をテーマに建設が進められてきた「新4号館」が、この春完成しました。

地形を生かして建てられた画期的な4階建ての新校舎は、随所に新機能が取り入れられ、まさに、「出会い、語らい、活動する」多様なシーンの舞台となっているようです。

早速、編集スタッフ皆で見学、取材しました。

新しい校舎「4号館」に入った途端、品の良い雰囲気に飲み込まれていきました。

階段の壁面は、階によって「黄色」、「若草色」、「緑」、「深緑」に塗り分けられています。これは、外の銀杏並木の変化を表しているそうです。

生徒たちのロッカーは、教室を広く使えるよう配慮され、今までと違い、室内ではなく廊下に設置されています。しかもロッカーの暗証番号は、生徒自ら決めるそうです。どんな思いを込めて決めるのでしょうか。忘れないと良いな、と思いつつ・・・

床は木調でビニール製、壁はコンクリートのうちっ放し、教室の壁はホワイトボード、iPadも置けるよう生徒の机の天板は一般の机よりひとまわり大きいそうです。外の自然の明るさによって、照明が自動で調整されます。省エネですね。

換気口は、外からの空気を取り入れ、コロナ対策などもあり、全館換気できるようになっています。

各教室は、電子黒板が設置されており、デジタル教材を映し出したりするなど、最先端のICT(情報通信技



シオンの丘に建つ高校新4号館

術)教育に対応しているそうです。

各フロアーには、外の景色を体感しながら勉強するスペースがあります。Seminar RoomやLearning Spaceと呼ばれています。

2階にある更衣室とトイレは、週末など校舎が施錠されていてもアクセスできるようになっています。

1階は階段ホールになっており、3クラス120名位が入れます。地域の方による講演会、生徒のプレゼンテーション、コンサート、勉強などができるようになっています。窓の外には、外階段が同じように設置されていて、体育の授業や部活動で使用できます。

また、入り口はバリアフリーで、多目的トイレも設置されています。

入口の壁には、笠間焼「ひよこ」で有名な小島英一氏が作成した笠間焼の校章が、2021年12月28日に元中学校教頭檜崎昭一先生の名で寄贈され設置されています。

また、20回卒業生、村田亮さんのご尊父村田猛氏によって描かれた宗教画が、入口上部壁に飾られています。引き込まれるような雰囲気の絵画という印象を受けました。

校舎の外側に目を向けると、これまでのタイル張り校舎とは違って、表面が平らな壁面が目に入ります。最近多発している地震への対応から、壁面が落下しないようにと考えられたそうです。

これまでにはない設備を備えた、新校舎「4号館」です。

コロナが落ち着き、卒業生の皆様が総会で集い、校舎や絵画などを目にされる時が早く来ることを、スタッフ一同心からお祈りしております。



笠間焼の校章



宗教画の前のランドレW.ヴォス校長先生と杉浦聖美副校長先生

● 令和3年度同窓会への寄付者一覧 (79件)
 (合計金額 465,000円) ご好意ありがとうございました。

1 松澤一平	19 手塚正子	30 雨海賢一
5 浅川嗣子	19 磯崎幸子	30 大久保文代
5 高野倉子	19 西連寺節子	30 廣木貞之
5 瀬木昇	19 中川紀江	30 金澤邦博
8 安藤佳世子	20 村田亮	33 川上光彦
8 加藤志津江	20 加藤木昭夫	34 小平暎子
9 中林由紀子	20 菅原卓子	34 石井由香
9 今村純一	20 沼田敏江	35 野寺聰子
10 小松邦子	20 松田玲子	36 平野修一
11 戸張紀子	21 鈴木和子	38 村山めぐみ
11 大谷俊恵	21 山本ユリ子	38 大石昌典
12 伊藤佳子	21 南田文子	38 甲高恵美子
13 石川育子	22 宮本実	45 西村真樹
13 皆川睦子	22 長谷川久美子	48 根本教子
14 井坂敦子	22 川崎美香子	51 鈴木仁美
14 岡田敏子	23 馬目和枝	59 伊藤真理子
14 丹羽智恵	23 弓野孝子	60 小橋稔彦
15 赤井美智子	23 武士一枝	62 大森翔一郎
16 菅谷弘	23 佐藤芳子	64 川端春希
17 若松守正	24 井坂みどり	70 丹息吹
17 吉野公子	25 後藤謙一	71 森下実紀
17 宇野崇司	25 近田由美	71 阿部円香
17 軍司文男	26 遠藤敏子	旧職員 7 原田きよ
18 神永敏光	26 依田明子	旧職員 菅原信子
18 郡司任孝	27 玉田多美枝	匿名 1名
18 富田ひろ子	27 大森明美	
18 大和八重子	29 岡田浩子	

「全国高校駅伝」に出場

■ 陸上競技部 (女子)

令和3年12月26日、京都市のたけびしスタジアム京都で行われた全国大会に、県代表で2年連続24回目の出場を果たした女子陸上部は、昨年の31位から順位を少し上げ、27位の結果となった。次回の大会における更なる飛躍を大いに期待したい。



第11回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストで「ダブル金賞」

■ コーラス部

令和4年3月12・13日の両日、群馬県藤岡市のみかほみらい館で第11回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストが行われた。関東9県から80団体が参加した中、本学園中学校、高校がともに金賞を受賞した。輝かしい実績となった。



ありがとうございました! ・井本晴雄先生 (聖書)
 ◆3名の先生が勇退されました ・秋元里美先生 (養護)
 ・上竹裕子先生 (聖書)

「ZION」発行への寄付のお願い

20,000人以上の卒業生への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。ご協力をお願い致します。

(「ZION」に同封の振込用紙をご使用下さい)

● 「高校新4号館」が完成!
 傾斜に沿って建つ4層の学び舎



教室の概念を変えた「階段型ホール」は、丘の傾斜に合わせたステップを持つ開放的な空間



ホール上段の「グラフィックウォール」〈学園創設に関わった人々〉=今年3月に高校同窓会が寄贈したもので、縦2.4m×横7.8mもある



「寄贈プレート」〈学園創設に関わった人々〉のシルエットに氏名が記されている



3号館につながるブリッジ

編・集・雑・感

いまだコロナ禍の影響が予測不可能で、ホームカミングデイの中止決定が遅れ、それに従い本年度の会報発行が遅延となり、ご心配をおかけしました。お詫び申し上げます。コロナで取材が難しい中、編集スタッフは苦戦しながら記事を仕上げました。11月のシオン祭は学園関係者だけで開催予定です。来年こそ皆様とマスクなしで集めたいと願っております。

(A)

★本誌編集スタッフ募集！

●編集スタッフ

ブキャナン理枝子・佐藤寿子・岡田貴子・手塚正子・荒川真理子
原田順子・松田玲子・高野雅之・池ノ辺浩・芳賀友博・黒木亜希子

●デザイン：M-at

今年も
ホームカミング・デイ
は中止です！

- 事業報告●会計報告はHPに掲載します。
- 役員改選は次回ホームカミング・デイで行う予定です。

建築設計・監理・既存建物調査

磯山設計事務所

一級建築士 磯山 治 (18 回卒)

〒309-1736 笠間市八雲 1 丁目 5-16
TEL0296-77-0476 FAX0296-78-2365

 Anchor Staff
フロンティア

●人材派遣業務 ●プロモーション業務

株式会社アンカースタッフ

取締役 黒木 亜希子 (37 回卒)

水戸市袴塚3丁目3-52 アンカースタッフビル
Tel.029-350-1551 Fax.029-350-1552



フランス菓子 ルブラン

水戸市千波町370 TEL.029-241-1991
http://www.leblanc.co.jp

茨城ゼミナール

進学教室・フリースクール・中高大受験
キリスト、茨城中クラス・看護科受験

西宮 秀樹 (31 回卒)

ひたちなか市表町5-1 メソンドビル2F ドンキホーテ隣
TEL090-3246-1760

…安全と安心のお手伝い…
安全保護具●非常災害用品●空気呼吸器他保護具
防火用品●土壌標識全般及びリース●感染症対策用品

<消防・防災用品の総合会社>

 栄興防災株式会社

水戸市住吉町32-2 TEL029-247-2255

日立栄興防災(株)

日立市東町2-11-4 TEL0294-22-1063

住まいと暮らしの相談室
ガスも電気も
ガス・パナソニック リフォームも…

砂川二郎 (38 回卒) TOKYO GAS GROUP
エネスタ 多賀

エネスタ多賀

TEL 0294-36-2520

 NEXT・カワワ

川島プロパン・住まいるカワワ・らぼーるカワワ

住まいるのコンビニ
らぼくらぶ

http://puron.co.jp

本社:茨城県ひたちなか市津田2941 TEL:029-273-8751
日立:日立市川原町5丁目4-15 TEL:0294-42-7111

 Nemoto

根本漬物

水の味 ふくゆい 倍楽梅干

専務取締役 根本 幸範 (40 回卒)

水戸市渡里町 1800
TEL 029-221-6153 FAX 029-226-0713

 人材派遣・職業紹介業務

(株)日本クリエート茨城

代表取締役 衣笠 勤 (25 回卒)

水戸市北見町 8-12
TEL 029-222-2727 FAX 029-231-1270

 ishigurogumi

高工事一式

石黒組株式会社

〒316-0014
茨城県日立市東金沢町 2-1-14
TEL:0294-36-6800
FAX:0294-35-1123
https://www.ishigurogumi.com

cafe  raku

森 万由美 (68 回卒)

水戸市常盤町 1-3-3 倍楽園 好文亭内 西塗縁
070-9040-3191
https://r.goope.jp/caferaku

茨城キリスト教学園 生活協同組合

これからは学園のみ皆さんの
よりよい生活のために努力し
ていきます。

ONE FOR ALL
ALL FOR ONE



いいものを創りたい。

 鎌笠間印刷所

水戸市本町2-1-26
TEL 029-221-3048
E-mail:kasama@proof.ocn.ne.jp

鶴のまち
日立の うかるくんともうかるくん



会津上野 / もうかるくん
必勝合格 / うかるくん

https://www.facebook.com/Ukarukun
Email ukarukun@hkp.co.jp

HOME ROASTED
● SAZA COFFEE ●
SINCE 1989

鈴木誉志男(10 回卒)・鈴木太郎(40 回卒)

本社:ひたちなか市共栄町8-18
TEL 029-274-1151
www.saza.co.jp

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 42

●発行日=2022 年 8 月 1 日

●発行人=川上光彦

●発行所=茨城キリスト教学園高等学校同窓会

〒319-1295 茨城県日立市大みか町 6-11-1 TEL.0294-52-3215(代) FAX.0294-53-9271

https://www.icc.ac.jp/zion/ E-mail:ih-dousou@icc.ac.jp